

全国学力・学習状況調査の結果より

今年度、4月21日に実施された全国学力・学習状況調査について、本校の結果と今後の取組についてお知らせいたします。

帯広市全体の結果については、市のホームページに掲載されていますので、そちらもご覧いただくと良いかと思えます。

国語

A問題（主として「知識」に関する問題）については「書くこと」「読むこと」の領域で全道平均より若干高い結果となりました。主語・述語といった文の構成関係を捉える部分に課題が残りました。

算数

A問題・B問題（主として「活用」に関する問題）ともに全道平均を下回り、基礎・基本の定着に向けて、さらなる努力が必要です。「計算」「図形」の問題に課題がみられます。取組を強化していきます。

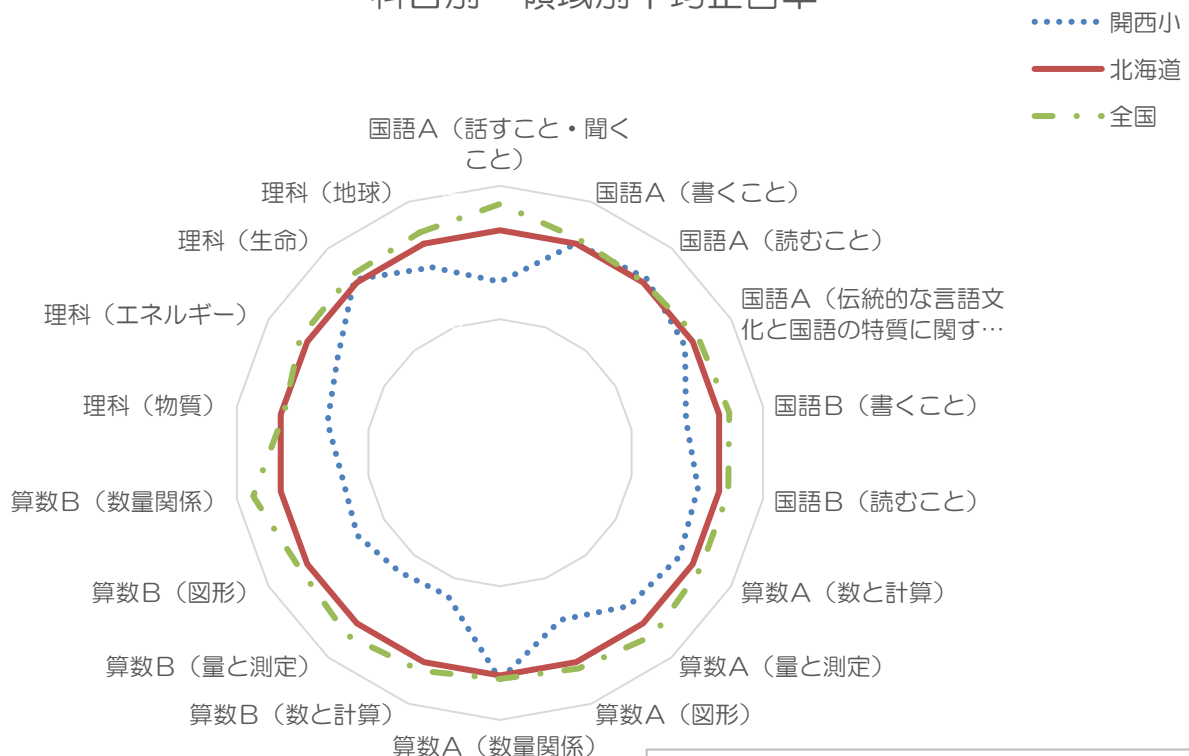
理科

国語や算数のようにA問題・B問題と冊子が分かれているわけではありませんが、「活用」の部分に課題が見られます。「生命」の部分は全道平均を上回る結果となりました。

児童質問紙より

「ものごとをやり遂げてうれしかったことがある」「難しいことでも挑戦していますか」といった意欲や自己肯定感について全国・全道平均より良い回答で嬉しいものでした。逆に「朝食」「寝る・起きる時刻」「テレビの視聴時間やゲームの時間」「家庭での学習時間」については比べるとバラバラだったり長い・少ない結果となりました。今後も指導を継続して参ります。

科目別・領域別平均正答率



- ・活用にに向けた授業改善を行います。
- ・習熟度別の学習・内容の充実を図ります。